

学校教育係 個の考えを広げ深めるための小集団による話し合いの充実に向けて



小集団による話し合いを充実させるために、どんな工夫をしていますか？

事前に自分の考えをしっかりと持たせてから話し合わせています。でも、個の考えが深まらなくて、どうするとよいか悩んでいます。



事前に考えをもたせることは、小集団の話し合いに全員が参加できるし、多様な考えに触れさせられるので、大変効果的ですね。個の考えを深めさせるためには、【話し合いの方向性】をはっきりさせることが大事です。そのポイントを紹介しましょう。



- 小集団による【話し合いの方向性】を、はっきりさせるポイント
- ポイント 1 「ねらい」に応じて【話し合いの目的】を明確にする。
 - ポイント 2 【話し合いの目的】から【具体的な方法】と【まとめ方】を設定する。

【話し合いの目的】(例)	【具体的な方法】(例)	【まとめ方】(例)
A 整理する B 順位付けする C 付け足す	ア 類型化する イ 組み合わせる ウ 示された観点で比較する エ いくつか選ぶ オ 新たに気付く	① 「個」で考えを整理 ② 「班」で考えを集約

ここでは、C - オ - ① で行った実践例を紹介します。



【小学校第3学年国語】「モチモチの木」

<設定する言語活動> 「モチモチの木」をリーフレットにまとめ紹介する。

<本時のねらい> リーフレットにまとめるために登場人物の性格を考えることによって、根拠となる叙述を明確にしなが、想像して読むことができる。



本文中に豆太の性格が想像できる叙述が複数探せるので、たくさん気付かせたいな。2色の付箋紙を使って、人物像に関する考えの広がりや深まりを実感できるようにしよう。それをもとにして、新たに自分の考えをまとめさせよう。

個

話し合いの方向性

班になって順番に意見を発表しましょう。友達の意見から「そうだな」と思ったこと(オ)などを「赤い付箋紙」に書いて、自分の学習シート(①)に付け足し(C)しましょう。

個

児童A 私は、夜中に一人でせっちんに行けないから「おくびょうもの」だと思います。

児童B 私は、ぐっすり眠っているじさまを起こしているから、豆太は「おくびょうもの」だと思います。

児童C 私は「いばりんぼう」だと思います。理由は、昼間は「美しい、落とせえ！」と、いばってさいそくしているからです。

児童A そうか、C君の言うとおり、「いばりんぼう」のくせに、「おくびょうもの」なんだわ。

児童Aの学習シート例

「いばりんぼう」
(赤)

まを起しているから。
(赤)

大きなモチモチの木を
こわがっているから。
(青)

夜中に一人でせっちん
に行けないから。
(青)

「おくびょうもの」
(青)

■ 学習シートを見直して、話し合いで広がり深まった考えを書く。

友達の意見を聞いて、「おくびょうもの」の理由はほかにもあることが分かりました。あと、「いばりんぼう」というのは気付かなかったので、なるほどなあと思いました。

- 全体場で考えを発表し、新たな考えに触れる。
- 学習を振り返り、登場人物の性格や気持ちを考えるときに注意したいことを書く。

小集団の話し合いで、方向性の示し方がよく分かりました。次から、【話し合いの目的】、【具体的な方法】、【まとめ方】をはっきりさせて進めます！